

2005年12月14日

各 位

大日本住友製薬株式会社

解析機能付き多機能心電計「レーダーサーク」
新発売のお知らせ

大日本住友製薬株式会社（本社：大阪市、社長：宮武 健次郎）は、独自に開発した解析機能付き多機能心電計「レーダーサーク」を12月20日に新発売いたします。当社として初めて自社開発した医療機器の販売になり、株式会社メディセオ・パルタックホールディングス（本社：東京都中央区、社長：熊倉 貞武）を発売元として主に医療機関、官公庁向けに販売します。

「レーダーサーク」は、当社が独自に開発した心電図波形解析ソフト「フラクレット」の技術を活用しており、従来の心電計に比べ解析性能が飛躍的に向上している点が特長です。とくに、突発的な衝撃・振動や体動の影響を受けやすい苛酷な環境下においても心電図を高精度に解析でき、救命救急、小児科、循環器内科など迅速な判断が求められる状況下での心機能評価に役立ちます。

「レーダーサーク」の日本国内における販売に関しては、株式会社メディセオ・パルタックホールディングスに独占的販売権を付与する契約を締結しており、今後、同社のグループ販売会社を通じて、主に医療機関、官公庁に対して営業活動を行います。

「レーダーサーク」の特長は以下の通りです。

1. これまで困難であった、突発的な衝撃・振動や体動の影響を受けやすい苛酷な環境下での「12誘導心電図」を高精度に解析するモニタ心電計です。
2. 本体は2.6kgと軽量かつコンパクトで携行性に優れています。バッテリー駆動で約2時間使用でき、病院内のみならず救急・災害現場、避難所、往診など院外でも使用可能です。
3. 12誘導心電図測定において、一拍ごとの心電図波形をリアルタイムに解析します。また、四肢や胸部から得られる1～12誘導の心電図を解析し、心機能、異常部位を簡便に把握できる「レーダーチャート」、測定開始から終了の間で異常が発生した時間帯を簡便に把握できる「サークルチャート」を装備しています。独自に開発したこれらのチャートは、救命救急、小児科、循環器内科など迅速な判断が求められる状況下での心機能評価に役立ちます。

当社では、「レーダーサーク」の新技术を活用することによって、新たな診断・治療法の確立を目指しています。とくに社会的要請の高い、救命救急、小児科、循環器内科など、迅速な心機能評価が求められる医療分野での貢献を期待しています。

以上

(ご参考) 「レーダーサーク」の概要

- 【販売名】 レーダーサーク
- 【医療機器承認番号】 21700BZZ00229000
- 【医療機器区分】 管理医療機器
- 【測定項目】 心電図測定(最大12誘導)、SpO₂(血中酸素飽和度)、NIBP(非観血式血圧)
- 【ディスプレイ部】 8.4インチカラー液晶、心電図波形12トレース、SpO₂波形、心拍数、SpO₂値、NIBP値、VPC値、ST値
- 【電源】 AC100V、DC12V
- 【寸法・重量】 W249×H234×D57mm、約2.6kg(本体のみ、突起部含まず)
W249×H355×D165mm、約9.1kg(本体にプリンターステーション接続時、突起部含まず)
- 【希望小売価格】 390万円(標準付属品を含む、税別)

製品の詳細は、「レーダーサーク」専用ホームページ <http://www.radarcirc.jp/> をご覧下さい。

本件に関するお問合せ先：

大日本住友製薬(株) 広報部 TEL 06-6203-1407(大阪)、03-5159-2505(東京)

製品写真



(本体・プリンタステーション接続時)



(本体)